


しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』 No.14	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7 ☎090-7275-9890 2016, 12, 3
--	--

第14回活動「サケの受精卵の配布および川岸の生き物」

- 1, 日 時： 2016年12月3 (土) 午前10:00～12:00
- 2, 天 気： 晴れ
- 3, 交 通： 現地集合
4. 場 所：○都市農業公園集合
○新芝川～荒川土手
- 5, 参加者：総数 19人

内訳	家族	7	大 人	7
			中学生	1
			小学生	7
			幼 児	1
			スタッフ	3

6, 活動の様子

- まずは、ケヤキの種を見つけてみよう・・・
 大きなケヤキの木の下に、ギザギザのついた舟形の葉がたくさん落ちていま
 す。「どこに種があるのかな？」とよく見ると、枯れ葉のたくさん着いた枝
 に小さな種がありました。「こんな小さな種が、60年もすると、あんな大
 木になるんだ！」
- 冬鳥は、どこに・・・
 新芝川で、野鳥観察です。「冬鳥はきているかな？」
 川には、カイツブリ・コガモ、アオサギ。カモメ
 川岸や木立には、スズメ・カラス・ヒヨドリ・オナガ・ハト (カワラバト)
 ハクセキレイ
- 冬桜 (十月桜) を見ながら荒川土手へ移動。
 白い花のイヌホオズキ、ピンクのホトケノザ、バッタもみつけました。
- カタバミで10円硬貨をこすると・・・
 「どこにあるの?」「これだよ!」と言って、黄色い花で葉はハート形、真
 ん中にすじが入っているシロツメクサに似ている葉、「これです」。汚れた1
 0円硬貨をこすると・・・、「あら、不思議?」、「ピカピカになった!」。

* カタバミ

黄色の五弁花。葉は、夜閉じる。全草に酸味。
葉は、真鍮（しんちゅう）をみがくの用に用いる。
皮膚病（疥癬）の薬として利用。

○ 高速道路の下で・・・

丸太の平均台を通り、大縄に挑戦！ういかちゃんは、なんかいも回れましたね！

そのうち、春日さんからケータイに連絡が入りました。

「卵、着いたよ」

○ サケの受精卵は・・・

白い箱から、たくさんの赤いつぶつぶが見えました。女の子が「イクラだ！」と叫びました。

茨城県常陸大宮の久慈川漁業協同組合から送られてきた4000粒のサケの受精卵。積算温度は330℃。黒い眼がキョロキョロしています。

あと10日もすると、卵から赤ちゃんが生まれます。

のらえもん会員や、保育園・幼稚園・小学校に配布され、子どもたちが観察します。

そして、3月には、新芝川に放流します。

* 受精卵を配布した個人・団体は・・・

- ・ のらえもん会員
- ・ 伊興保育園
- ・ 宮城保育園
- ・ 綾瀬保育園
- ・ 本木東保育園
- ・ 西新井保育園
- ・ 鹿浜こども園
- ・ 高島幼稚園
- ・ チェリー幼稚園
- ・ 鹿浜小学校
- ・ 北鹿浜小学校
- ・ 五色桜小学校
- ・ 根津小学校
- ・

* 13日には、高島幼稚園から「サケの赤ちゃんが、一匹、生まれました」との連絡がありました。

* 保護者の方が作ってくれた「サケの一生」の紙芝居は、子どもたちに活かされています。